

項目	内容
名称	バーベナ、バーベイン、クマツヅラ、バベンソウ [英]Verbena、Vervain [学名]Verbena officinalis L.
概要	バーベナはクマツヅラ科の多年草である。キリスト磔刑の際に十字架の下から生えて出血を止めたとの言い伝えがあり、「十字架の薬草」「聖なる草」との別名がある。古代から世界各地で様々な病気に効く万能の民間薬として利用されてきたほか、神秘的な効果をもつ薬草と考えられており、予言や呪術の力を高める目的で、また媚薬としても用いられていた。中国漢方では利尿、発汗、解熱、通経作用などの目的で用いられる。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <b>■ 食品添加物</b> ・米国ではGRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・アジア、ヨーロッパ、北アフリカに分布。日本では本州から沖縄にかけて分布する。道端や荒地に自生する高さ60~100 cmの多年草で、花期は夏。茎は直立し、上方で分岐、全体に細かい毛がある。全草を採取し、水洗い後、日干しする。ハーブティーなどに利用されるレモンバーベナとは別属である。 ・イリドイド配糖体であるベルバスコシド (verbascoside)、ベルベナリン (verbenalin)、ベルベニン (verbenin) を含む。地上部にウルソール酸 (ursolic acid) を含む。
分析法	・ウルソール酸が多波長検出器付HPLCにより、C18カラムを用いて分離・分析された報告がある ( <a href="#">PMID:12776531</a> )。

## 有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
(101) A Physician's Guide to Herbal Medicine. Terry C. Telger, transl. 3rd ed. Berlin, GER: Springer, 1998.  
(81) Herbal Medicines Third edition (Pharmaceutical Press)  
[\(PMID:10483681\) Wien Med Wochenschr. 1999;149\(8-10\):202-8.](#)  
[\(PMID:12776531\) Zhongguo Zhong Yao Za Zhi. 2002 Dec;27\(12\):916-8.](#)  
[\(PMID:10920504\) Ann Ital Med Int. 2000;15\(2\):139-43.](#)  
[\(PMID:22876743\) J Diet Suppl. 2012 Sep;9\(3\):149-54.](#)  
[\(PMID:28539725\) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13\(50\):300-308.](#)